

TOTO

ハイクオリティ自動洗面器

LS991D型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意

(安全のために必ずお守りください)

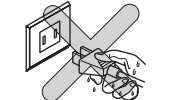
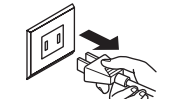
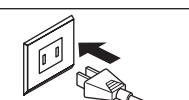
施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

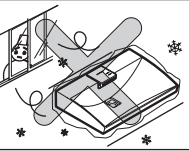
表 示	意 味
 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

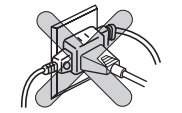
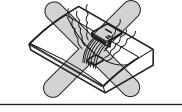
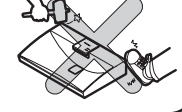
	 は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。		 は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
---	--	---	---

 警告		
 禁止	ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因になります。	
	電源プラグやコントローラーに水をかけない 火災や感電の原因になります。	
	指定する電源AC100V以外では使用しない 指定ボルト以外や直流電源を使用しますと、火災や故障の原因になります。	
	電源コードを折り曲げたり、重いものを載せるなど乱暴に扱わない 火災や感電の原因になります。	

 警告		
 分解禁止	この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
 接触禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。	
	雷が発生しているときや、電源プラグに触れない 感電の原因になります。	
 必ず実行	電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張ると、プラグやコードが傷んで火災や感電の原因になります。	
	電源プラグは根元まで確実に差し込む 火災や感電の原因になります。	

 注意		
 禁止	屋外や凍結が予想される場所には設置しない 部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
 必ず実行	メーカーの施工要領書に従って商品を取り付ける	
	感電のおそれがあるところでは通電する前に電源からコードを抜いて置く	
	フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、必ず止水栓を閉めてから行う また、湯側フィルター部が熱くないことを確認する 水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	

 警告

 禁止	電源コードの交換はしない 電源コードが破損した場合、コード交換は危険防止のために製造者もしくはその代理店または同等の有資格者によりなされること 火災・故障・感電の原因になります。	
	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。	
	湯水を逆に配管しない 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。	
	給湯温度は85℃より高温で使用しない 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損してやけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
 水場使用禁止	本自動水栓を使用される地域における法令の定める規定温度を超えた水温で使用しない	
	水がかかったり、表面に結露を生じるような浴室などでは、使用しない 故障・漏電の原因になります。	
 衝撃禁止	たたいたり、蹴ったりしない 故障や水漏れの原因になります。	

仕様

商品品番		吐水時間	電源
LS991D		スイッチ操作：50秒・手センサー：60秒	AC100V 50/60Hz
センサーの検知範囲		給水圧力	
手洗い	250mm以内	最低必要水圧：0.07MPa(流動時)	
人体	900mm以内	最高水圧：0.75MPa(静止時)	
センサー自動調整		現場の法令が定める建築物における最高水圧を確認のこと	
給水接続	使用環境温度	湿度	吐水流量
PJ1/2	1～40℃	最高90%RH	6.5L/分(定流量弁内蔵)

取り付け前に

1. 給水圧力の確認

- 給水圧力が給湯圧力と同じかそれ以上であることを確認してください。
- 給水圧力が0.75MPa(静止時)より高い場合は、市販の減圧弁を使って0.2から0.3MPaの範囲で圧力を下げてください。
- 最適使用水圧の範囲は0.07MPa(流動時)から0.75MPa(静止時)です。給水圧力がこの範囲内であることを確認してください。

2. 給湯温度の確認

- 給湯には蒸気を決して使用しないでください。
- 給湯温度の範囲は(60～85℃)です。
最低温度は強制的なものではありませんが、推奨温度です。
本商品は水温50℃を超える温水は吐水しません。

3. 配管

- 施工前に配管内の水をすべて排水してください。

4. カウンターについて

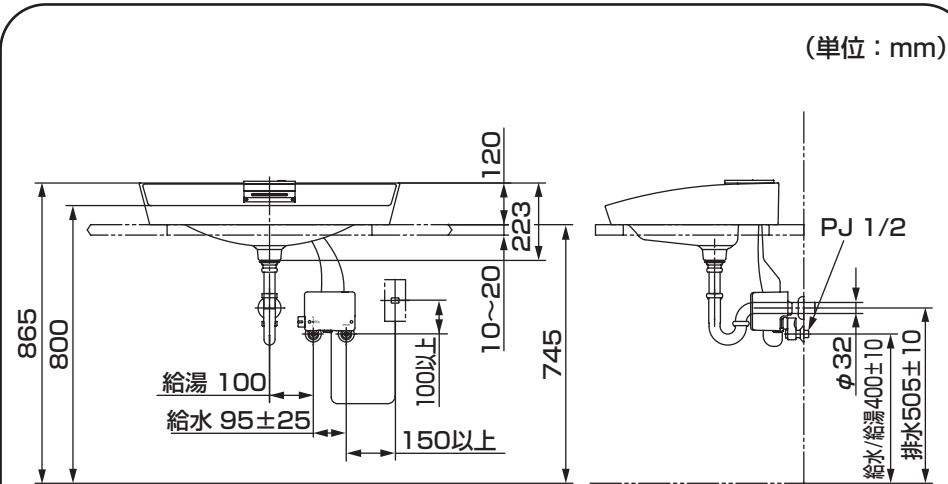
- カウンターの厚みは10～20mmの範囲としてください。
- カウンターの切り欠き形状については、設計施工資料集をご参照ください。(13.02以降) また、別紙型紙(型紙No.4053)を準備しておりますので当社の支社、支店、営業所にお問い合わせください。

5. その他

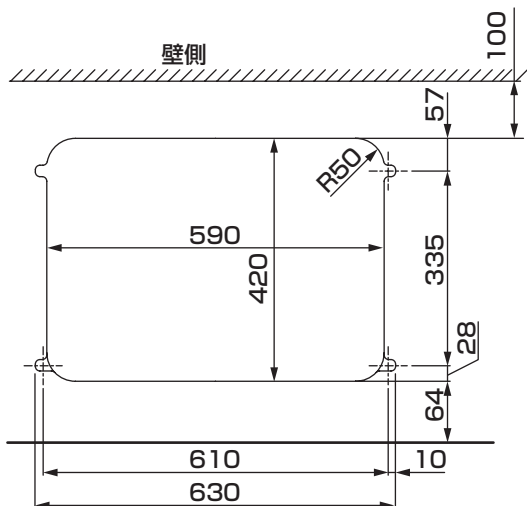
- センサー面が傷ついたり、引っかき傷がつかないように特に注意してください。
- 本体の近くにインバーターや赤外線センサー使用したほかの装置を置かないでください。誤動作の原因になります。
- 本体内部に水が残っていても商品の故障ではありません。

完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

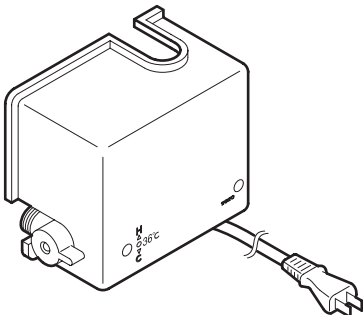
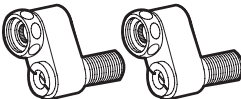
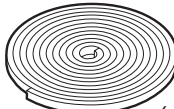
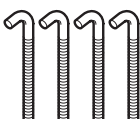


カウンターの切り欠き寸法図



同梱部品

次の部品があることを確認してください。

コントローラー			給水脚部	クッション材
			 フィルター付き止水栓 (パッキン付き)  フランジ (各2個)	 (大)  (小) (各1個)
フックボルト	蝶ナット	ワッシャー	その他	
 (4本)	 (4個)	 (4枚)	 開閉工具 六角レンチ	 施工説明書  取扱説明書

◆必要工具

アジャスタブルレンチ、ペンチ、カッター

陶器・スパウト、排水金具

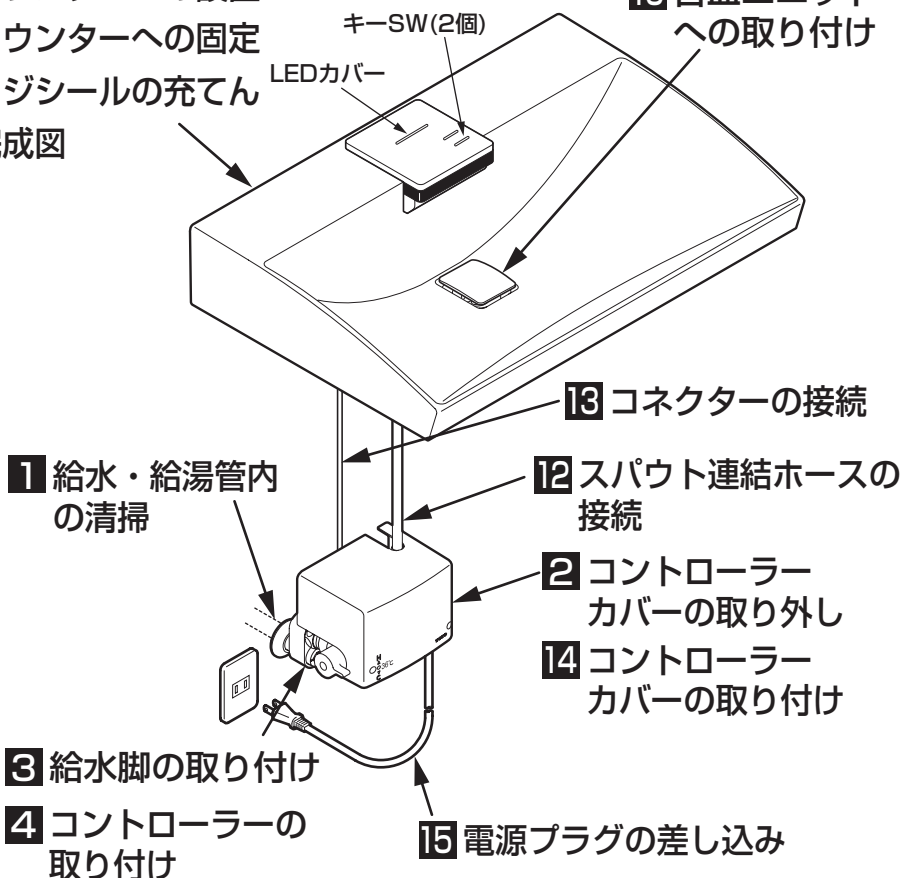
陶器・スパウト	排水金具	パイプ

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

施工手順

- 6 クッション材の貼り付け
- 7 カウンターへの設置
- 8 カウンターへの固定
- 9 メジシールの充てん
- 11 完成図

- 5 排水金具の陶器への取り付け
- 10 目皿ユニットへの取り付け



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

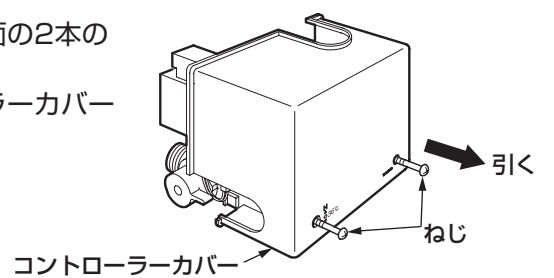
1 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

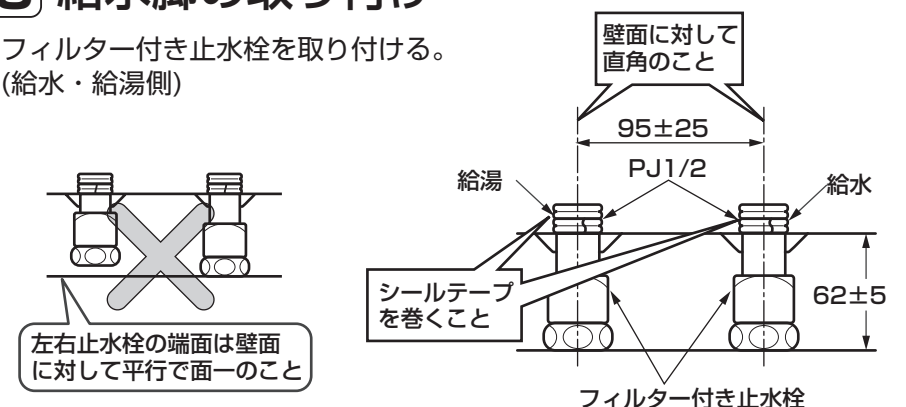
2 コントローラーカバーの取り外し

- ① コントローラーカバー前面の2本のねじをゆるめる。
- ② 図示の方向にコントローラーカバーを外す。



3 給水脚の取り付け

フィルター付き止水栓を取り付ける。
（給水・給湯側）

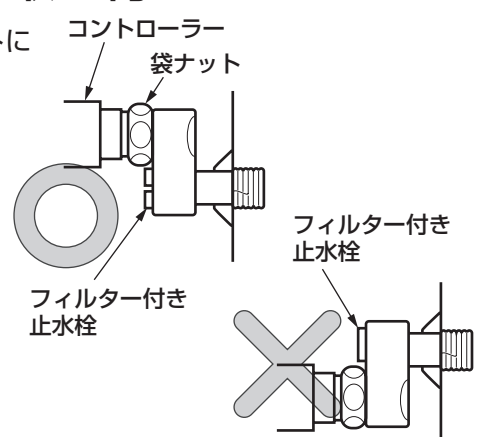


4 コントローラーの取り付け

- ① フィルター付き止水栓の袋ナットにパッキンを取り付ける。
- ② コントローラーを取り付ける。

注意

- パッキンを必ず取り付けてください。
- フィルター付き止水栓はコントローラーの接続部が上になるように取り付けてください。下になるとフィルターの掃除、および止水栓の調節ができません。



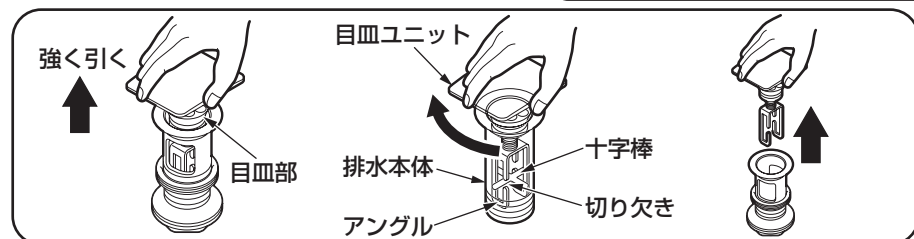
裏面につづく➡

5 排水金具の陶器への取り付け

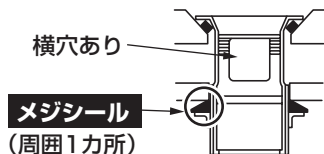
- ①目皿ユニットを強く引っ張って目皿部を外し、一度手を離す。
- ②目皿ユニットを時計回りに(約45°)回す。
- ③目皿ユニットを引き上げる。

注意

取り外しができない場合は、目皿ユニットを一度元に戻して、もう一度時計回りに回しながらゆっくり引き上げてください。

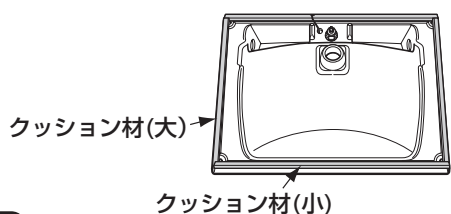


- ④目皿ユニットを外した排水本体を陶器に組み付け、図の位置へメジシールをする。



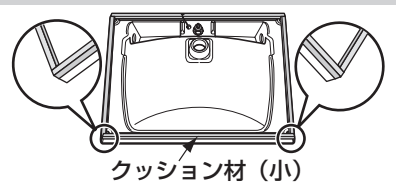
6 クッション材の貼り付け(カウンター施工の前に)

貼り付け面の汚れ・ほこりなど十分にふき取り、クッション材のセパレーターを剥がしながら、洗面器下面にクッション材を貼り付ける。

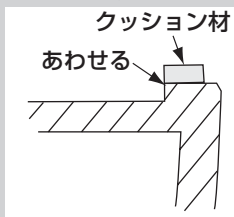


注意

- クッション材(小)は洗面器後部に貼り付けてください。また、クッション材(大)(小)の合わせ部は、必ずすき間が生じないように貼り付けてください。

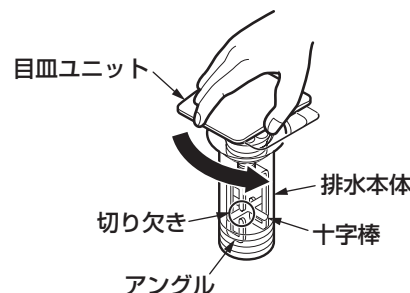


- 洗面器下面の内側コーナー部にあわせて貼り付けてください。設置後にクッション材がはみ出すことがあります。



10-2 目皿ユニットへの取り付け(つづき)

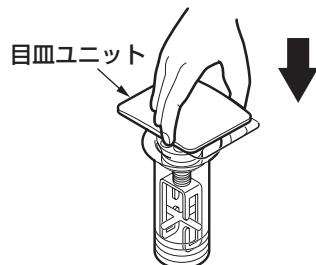
- ②目皿ユニットを反時計回りに回しながら、十字棒にアングルの切り欠きをはめ込む。



- ③目皿ユニットを引き上げて、外れないことを確かめてから、一度手を離す。

注意

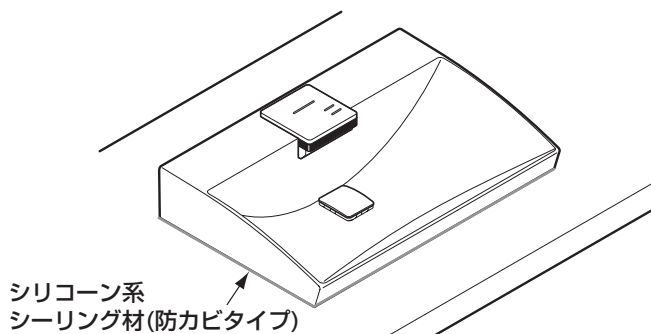
目皿ユニットを引っ張って外れる場合は、もう一度最初からやり直してください。



- ④目皿ユニットを押し込む。

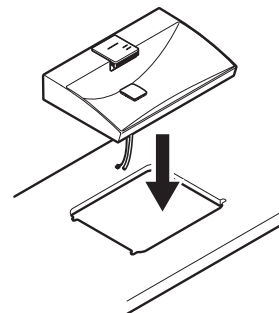


11 完成図



7 カウンターへの設置

陶器を設置されたカウンターへ載せる。

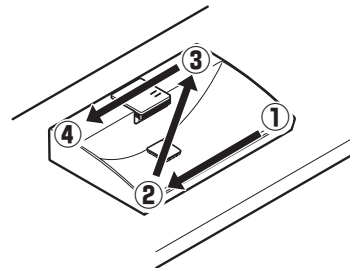


8 カウンターへの固定

注意

固定ねじの締め付けは、下記順序で締め付けてください。

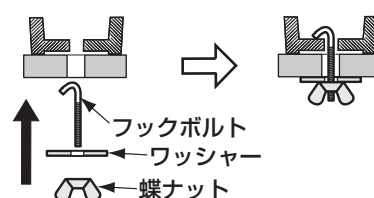
フックボルトで固定する。



注意

蝶ナットの締め付けは手締めで行ってください。

ペンチ・プライヤーなど工具を使用すると、洗面器固定部が破損し、正常な設置ができないおそれがあります。

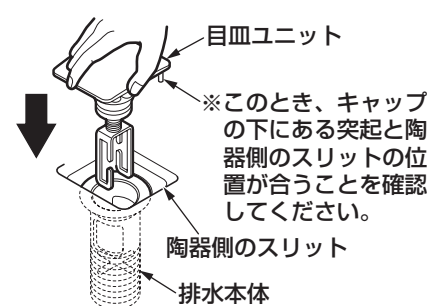


9 メジシールの充てん

カウンターと洗面器にマスキングテープを貼り、洗面器周りにメジシールまたはシリコーン系シーリング剤(防カビタイプ)を充てんする。

10-1 目皿ユニットへの取り付け

- ①排水本体に目皿ユニットを落とし込む。



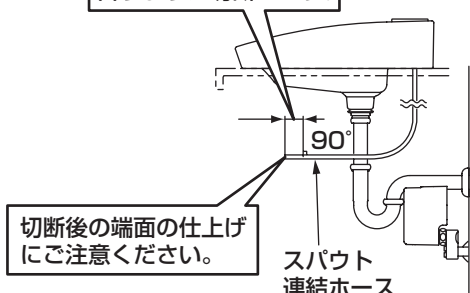
12 スパウト連結ホースの接続

- ①スパウト連結ホースをコントローラーのホース継手に合うように適切な長さに切断する。

注意

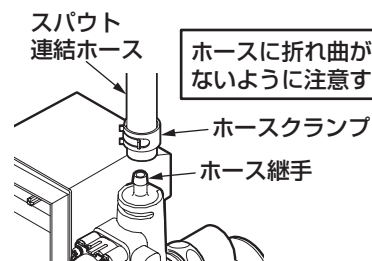
- カッターなどを用い、切断面が垂直になるよう行ってください。
- スパウト連結ホースが長すぎると、折れ曲がりによる吐水不良のおそれがあります。

機能部のホース継手に合うように切断します。



- ②スパウト連結ホースをホース継手に差し込む。

ホースに折れ曲がりがないように注意すること

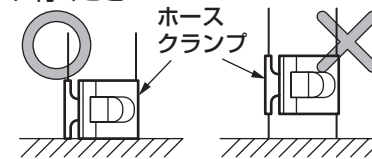


- ③ホースクランプでホースを固定する。

注意

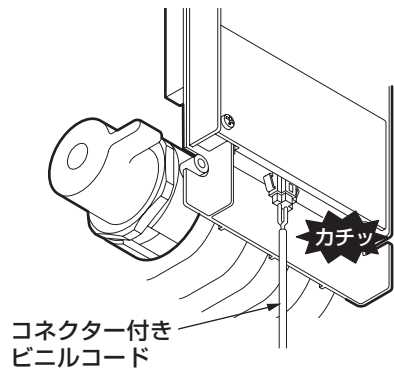
- スパウト連結ホースが確実に差し込まれているか確認してください。
- スパウト連結ホースが折れ曲がることのないように注意してください。
- ホースクランプは所定の位置にできるようにしてください。
- 必ずホースクランプでスパウト連結ホースを固定してください。

ホースクランプがホース継手の上面に付くこと



13 コネクターの接続

コネクター付きビニルコード（白）を「カチッ」というまで差し込む。

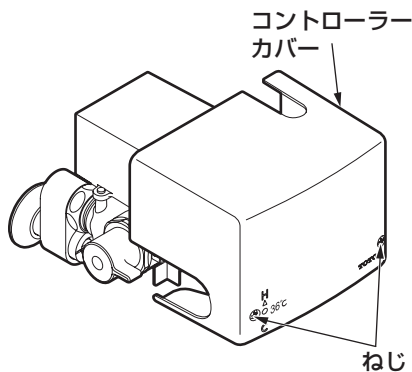


14 コントローラーカバーの取り付け

コネクターが確実に接続されていることを確認後、コントローラーカバーを取り付ける。

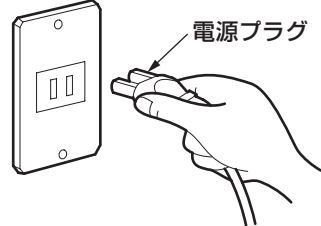
注意

- コントローラーカバーは確実に取り付けてください。
- コントローラーの取り付け向きを確認してください。
- コントローラーカバーを取り付ける際は、コードのかみこみに注意してください。



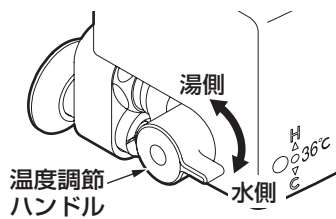
15 電源プラグの差し込み

電源プラグをコンセントに差し込む。



2 温度調整

温度調整は出荷時に（36℃、最高温度42±3℃）に設定してあります。
給水圧力やその他の現場条件により、水温は仕様どおりにならないことがあります。
この場合、温度調節ハンドルを回して温度を調節してください。



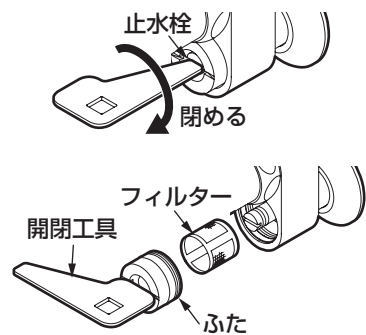
注意

水温が調節内容と逆に変化する場合は、湯と水の接続が正しく行われているかどうかを確認してください。

3 フィルターの清掃

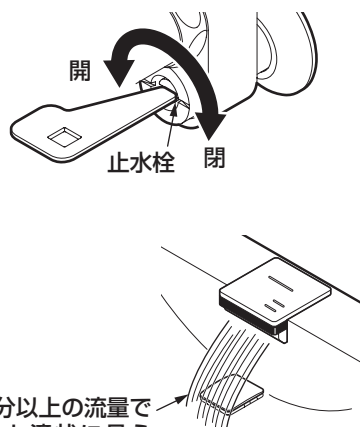
付属の開閉工具で止水栓を閉めたあと、ふたとフィルターを外す。

※施工後は定期的にフィルターを清掃してください。
フィルターが目詰まりすると、流量が減少し、商品が正しく動作しません。



4 流量の調整

定流量弁を内蔵していますので、基本的に調節は不要です。
止水栓は**全開**にてご使用ください。
ただし、圧力が低い場所では流量が不足する場合がありますので、「5.流量調節の仕方」にて定流量弁を取り外してください。
吐水量が多い場合など、流量を調整する必要があるときは止水栓を時計回りに回して調節してください。



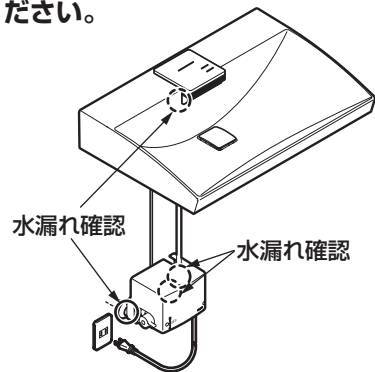
施工後の調節

1 施工後の確認

商品の施工後に以下の手順にて確認を行ってください。

①水漏れの確認

止水栓を開き、給水脚・給湯脚やスパウト連結ホースの接続部から水漏れがないか確認してください。

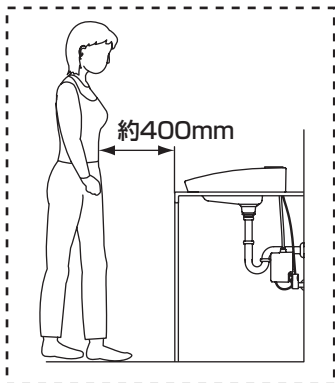


②運転

<人体検知センサー運転の確認>

（設置完了して電源プラグの差し込みまで完了したあと）

カウンターから約400mm離れて立つと、キースイッチ(2個:青)とLEDカバー(青)が点灯します。

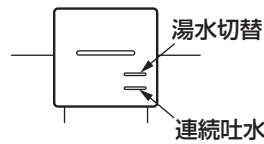


<手洗いセンサー運転の確認>

- 手を吐水口の下に置くと水が出始めます。
- 手を外すと1～2秒で水が止まります。
- 安全と節水のため、連続して60秒以上検知した場合、水は自動的に止まります。

<(連続吐水、湯水切り替え)スイッチによる運転の確認>

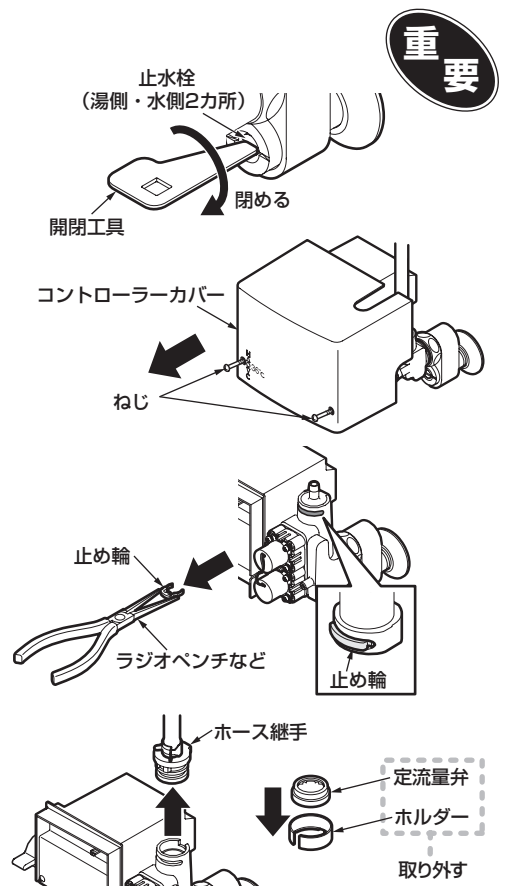
- 連続吐水スイッチを押すと水が出ます。
- もう一度押すと止まります。
- 約50秒間連続して水が出ると自動的に止まります。
- 湯水切り替えスイッチを押すと出ている（またはこれから出る）水が適温に切り替わり、スイッチ部分が赤色点灯に変わります。
- もう一度押すと水に戻り、スイッチ部も青色点灯に戻ります。



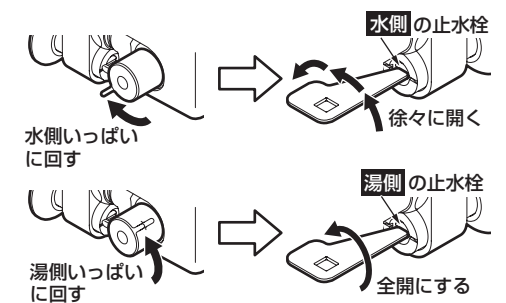
5 流量調節の仕方

1. 開閉工具で湯側・水側の止水栓を閉める。
2. ねじ(2カ所)をゆるめ、コントローラーカバーを手前に引く。
3. 止め輪を外す。
4. ホース継手を外す。
5. ホース継手からホルダーを外し定流量弁を取り出す。
6. ホース継手を元の位置に戻し、止め輪を取り付け、コントローラーカバーを取り付ける。

- 止め輪の付け忘れに注意してください。



7. 温度調節ハンドルを水側いっばいに回す。
8. 温度調節ハンドルを湯側いっばいに回す。
9. 湯側の止水栓を全開し、吐水温度が42℃以下であることを確認する。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。